植物トシテ著名デアル。紀州ヨリ四國ヲ經テ九州南部ニ分布スル。然ル處、近頃意外ノ北方カラコレヲ檢出シ得タ。ソレハ越後國市振村デアツテ九里聰雄氏ノ採集品ヲ久内清孝氏ヲ經テ入手、九里氏ハ一昨昭和九年ニコレヲ發見サレタガ標本良好ナラザル爲、昨十年改メテ多數ノ良好ナ個體ヲ採集ホルマリン漬ノ標本トシテ送ラレタノデ充分ニ調ベルコトガ出來、本種ナルヲ確メ得タ。ほんごうさうノ type locality ガ天然紀念物ノ恩惠ニ浴シテ居ル今日、本種ノ上記產地モ北限地トシテ同樣充分ノ保護ヲ望ムモノデアル。猶本種ノ形態等ニツイテハ右材料ヲ基トシテ記載ト圖トヲ作リ、近ク出版ノ運ビトナル東亞植物圖說第一卷第二輯(春陽堂發行)ニ載セタ故、同書ニツイテ見ラレタイ。(前川文夫)

○ひなのきんちやくノ學名

同屬ノかきのはぐさトハ又變ツテ可憐ナ小草デアルガ學名ニハ *Polygala triphylla* HAMILTON ex D. DON. Prodromus. Floræ Nepalensis: 200 (1825) ガ使ハレテ居ル。シカシソノ原記載ニ依レバ黃細花ヲ綴リ、葉ニハ細鋸齒ガアルトイフ。我々ト共ニアルひなのかんざしハ淡紅紫花ヲ開キ、葉ハ全緣デアル點デ異ツテ居ル。一方デハ又 *Polygala triphylla* BURMANN, fil., Floræ Capensis Prodromus: 20 (1768)〔コノ書ハ有名ナ同氏ノ Flora Indica ノ末尾ニ附錄トナツテ居ル〕ナル先行ノ同一名ガアツテ後出ノ上記 HAMILTON ノ名ハ失效スル。ソコデ北京附近ヲ type locality トスル上ニヨイ圖迄伴ツタ **Polygala Tatarinowii** REGEL in Bull. Soc. Nat. Mosc. **34**-2: 523, t. 11. f. 10-11 (1861) ガ當然浮ビ上ツテ使用サレルコトトナル。即チ學名ニ關シテハ帝國大學理科大學植物標品目錄: 19 (1886) ヤ矢田部、日本植物編: 198 (1900) ノ昔ニカヘツタ次第デアル。

(前川文夫)

○かはのり臺灣阿里山中ニ產ス

かはのり (*Prasiola japonica* YATABE) ハ日本特產ノ種類デアリ、殊ニ故矢部吉禎博士ニヨツテ有性生殖ノ機構ガ發見サレテカラハ一層注目ノ的トナツタ淡水產綠藻類デアルガ、ソノ產地トシテハ日光附近ヤ東京府ノ奥多摩・相模川ノ沿岸等ガ知ラレテキルダケデアツタ。筆者ハ先頃臺灣ニ採集ニ行ツタ折ニ阿里山デ營林所關係ノ人々ガ同地ノ溪流ニ自生スル藻類ヲ食用ニ供スルコトヲ聞キ、或ハかはのりカト思ヒ早速ソノ正體ヲ見タクナツタガ、幸ヒニモ同地ノ營林所ニ勤務セラレル武末直之氏ヨリ立派ナ腊葉ヲ割愛サレ、更ニソノ翌1月26日山下伊三郎氏ハ數里ノ道ヲ遠シトセズニ生品ヲ採集シテ著者ニ惠送サレタ。檢鏡調査ノ結果 *Prasiola* 屬ナルコトハ疑フ餘地ガナイガ、果シテ *P. japonica* カドウカ、產地ガアマリニモ南ニ位スルモノデ或ハ外國產ノモノト共通カモ知レヌシ新種トナルカモ知レナイノデ、素人ノ筆者ハ最後ノ斷定ヲ專門家ニ讓リ、タヾかはのり屬ノ一種ガ阿里山附近ノ溪流ニ相當廣ク分布シテキルコトヲ報告スルニ止メル。終リニ標本ヲ惠與サレタ兩氏ニ厚ク感謝ノ意ヲ表スル。(佐藤正己)